

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『外来の依存症患者を対象とした作業療法プログラムの改善に関する 研究：アンケート調査を用いた後方視的研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2021年6月8日より2023年3月14日の間に当院のReal生活プログラム(以下、リア活:外来の依存症患者様を対象とした作業療法プログラム)に参加された方

【研究期間】

研究実施許可受領後(2023年9月27日)より2024年2月28日まで

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター病院 精神リハビリテーション部 作業療法主任 立山和久

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

本研究の目的は、毎回のリア活終了時に記入の協力をお願いしているアンケートの主観的満足度や感想などを元に、参加者の視点からリア活の内容を分析することによって、現在実施しているリア活の内容を振り返り、参加者の満足度をより向上させ、回復に寄与できる内容を検討することです。得られた結果からリア活の内容を改善することによって、参加者の回復支援につなげることができ、依存症領域の治療に貢献できる可能性が考えられます。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料:ありません

診療情報:性別、リア活への初回参加時の年齢、診断名、主な依存対象

アンケート情報:アンケートに記入された重要度、満足度、要望、感想

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属:精神リハビリテーション部 氏名:立山和久

電話番号:(042) 341-2711 e-mail:k.tateyama@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究

センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu@ncnp.go.jp